

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年7月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300142
法人名	社会福祉法人 紘徳会
事業所名	コーポラス いちなりの郷
所在地	鹿児島県鹿屋市輝北町市成2124番地1 (電話 099-485-1300)
自己評価作成日	2011年5月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年6月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>現在いちなりの郷では社会福祉法人の取り組みとしてIS09001及び苦情10002を取得し日頃の業務改善につなげています。日頃のケアは年間の目標を回想法にて設定し利用者様のケアを行っています。スタッフ間の目標も設定しチームワークの強化に取り組んでいます。また地域の方々が多くこられ毎日が楽しい日々です。そして外出も多く全員で外出したり個別に外出したりとしながら生活していますが、開所してから毎年一泊旅行や日帰り遠足など試みて少しでも安心した日頃の生活ができるようにと工夫しています。食事については家庭的な食事を目標にしていますが、月間献立作成を行い栄養士の指導のもと提供しています。入浴についても我々が日頃、毎日入浴するように利用者様も毎日入浴をしています。建物自体は木造平屋建ですが環境にやさしいジョパワーシステムと設置義務はないですがスプリンクラーの設置をし安全対策をしています</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>○ ホームは、リビングからは静かでゆったりとした田園風景が眺められ、天気の良い日には遠くに霧島の山々が望める、豊かな自然に囲まれている。隣接する母体医療機関との情報交換は、日々受診表や連絡表で確実に行われ、緊急時にも24時間体制で適切な医療が受けられる状況で、利用者や家族にとって大きな安心感に結びついている。</p> <p>○ 地域との交流は相互に非常に活発であり、地域の運動会・祭り・敬老行事等に積極的に参加すると共に、ホームが主催する毎月の「地域ふれあい計画」では、地域の方々と利用者との昼食時の会話で交流を図っている。利用者の友人・知人の訪問も頻繁にあり、子供たちとの定期的な交流も行われている。</p> <p>○ 管理者や職員は、利用者の思いや意向は日常会話や週1回の「利用者様会議」から把握するように努め、ご家族からは来所時や家族会の際に多くの意見を頂いている。利用者及び家族からのアンケートも分析し、問題解決のために管理者と職員が十分に意見交換を行い、サービスの質向上に活かせるように取り組んでいる。</p> <p>○ 本人・家族の意向や希望及び関係者からの情報を基にして、職員全員で十分に意見交換して、理念に込められた「寄り添うケア」の実現のために、きめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。ケアの経過は詳しく記録され、それを基に介護計画の見直し修正が適切に行われている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、みどりの園理念、ホーム運営方針と躰6原則を唱和し共通認識を測っている	法人全体の理念に沿って事業所の方針を掲げると共に、詳細な年間目標を設定して「利用者に寄り添うケア」に取り組んでいる。名札や職員手帳への記載や朝礼での唱和で理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回地域団体の長や食を通してのふれあいにて交流いただいている	地域の運動会・祭り・敬老行事等に積極的に参加しており、毎月の「地域ふれあい計画」は年間を通して作成され、地域の方々と利用者との昼食時の会話で交流を図っている。利用者の友人・知人の訪問も頻繁にあり、子供たちとの定期的な交流も行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会での事例報告及び在宅部門に依頼し介護講習会を開催している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回の割合にて活動状況・目標進捗状況も含め報告し意見を伺っている	会議は家族や地域住民・民生委員、行政や消防署・地域包括支援センターの職員等多くの関係者が出席して定期的で開催されている。利用者の現況の紹介、事業所の目標や行事・問題点等の意見交換が行われ、具体的にサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に来ていただいているがその他は事務連絡のみである	市担当者には毎回の運営推進会議に出席頂くと共に、市主催の「地域密着管理者集団指導会」に出席して、必要な情報交換や連携を図り、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束など特に法人全体と個々の事業所でのミーティングなど通じて理解を高めるようにしている	居室や玄関の施錠は行わず、利用者の外出は職員同行になっている。地域の方々による見守り等の協力関係も構築されている。言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、毎月のミーティングや日々の申し送り時に議論すると共に、法人全体の研修も年2回実施され、十分な理解への取り組みとケアへの反映がなされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人職員間で交代に月1回安全パトロールを実施し職員への調査やケアの内容をチェックしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在事例は無いが権利擁護について勉強会など不定期に実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明の徹底や家族会の開催及びご意見箱を活用と同時に面会に来られた時にお聞きしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時でのご意見の有無確認や家族会及び運営推進会での意見を聴いている	利用者の意見や思いは日常会話や週1回の「利用者様会議」から把握するように努め、ご家族からは来所時や家族会の際に多くの意見を頂いている。また、利用者及び家族からのアンケートも分析し、問題解決のために職員が原因の究明・対策検討の意見交換を行い、これらを報告書に整理して共有し、サービスの質向上に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ホーム内でのミーティングを月1から2回開催し反映を試みている	管理者は、日常の申し送り時や月1回のミーティングで職員の意見や提案を聞きとると共に、毎月の職員とのレクリエーションで話しやすい雰囲気作りに努めている。得られた意見や提案を業務改善や利用者へのサービス向上につなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	常時、管理者会議での話合いや就業規則を必要に応じて変更し説明と是正を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人での年間教育及び外部講師を招いての教育、またエルダー制によるトレーニングをしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会などへの加入はしていませんが協議会が主催する研修会には参加したり市の主催する会議などで情報を得たりしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始する前ホーム見学を行い説明など行い不安を解消している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始する前ホーム見学を行い説明など行い不安を解消している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自立支援を念頭に説明し、他のサービスも説明している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様会議を週1回開催し役割も週間割りで行い共同生活の向上をはかっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム外出以外での家族による外出や食事会の開催を提供している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できるだけ友達にきていただくようにしているが全員ではない	日常から地域の知人・友人の来所は多く、ゆったりと過ごせるように可能な限り支援している。電話の取り次ぎや葉書の作成の支援、本人が希望する墓参りや商店・友人宅への同行にも努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の週1回の会議をとおしてお互い意見が言えるように工夫している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅へ復帰した場合なども生活状況を家族に聞いたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	新規や認定更新時期や半年での意向を伺っている。	毎日の生活の中で思いや希望の把握に努め、「朝の集い」ではニュースや地域の話伝えながら、利用者の希望を聞き取っている。朝礼や申し送りノートで共有を図り、職員で意見交換して利用者本位の支援になるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時に生活歴やサービス状況など把握しているが完全ではない。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活していくなかで本人のペースや動きなどを観察し能力など見極めるケアをしているが完全ではない		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングなど通し必要に応じて本人・家族の要望や意見を聞いているが本音がかめないこともある	本人・家族の希望や意向、関係者からの情報を基に、職員が意見交換して詳細な介護計画を作成している。本人・家族の要望や変化に応じて、細かく記録されたケアの経過記録や関係者の意見を基に、計画の見直し修正が適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活状況や健康状態など支援経過に記録し計画時に反映できるように工夫はしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その場の対応ができるように柔軟な対応をしているつもりである		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の歴史など資源を振り返ったりしながら心身の活性化と安心した環境を支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回医師に往診していただくことと、医師の説明などしていただいている	利用前の受診経過は記録整備され、隣接する母体医療機関のかかりつけ医との情報交換は受診表や連絡表で確実に行われている。月2回の往診も定期的実施されており、緊急時にも常時適切な医療が受けられる状況である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝、併設病院とのカンファを行い心身状況を報告している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合は適度な病院訪問先での情報の共有化を図っている。また退院時期も双方で協議するなど共有化している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	けい管栄養の方への説明など実際の事例あり、予測される段階から説明連携をとっている	重度化や終末期のケアについては、ご家族とかかりつけ医と十分な話し合いが行われた後に、「緩和ケア便覧」に基づき、事業所が対応可能な最良のケアについて、十分説明して同意を得るための仕組みづくりがなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設内での看護師によるOJTなど訓練している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や自主訓練を通し対応できるように工夫している。また地域協力隊の支援も受けている。しかし地震などが不完全である	消防署の協力のもと、地域住民も参加しての夜間の避難訓練を年2回実施している。また、地域の応急手当コンテストや消防大会への職員参加、スプリンクラーの設置、食料・水・毛布等の備蓄など、災害時への十分な取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月1回の接遇ロールプレイングで勉強会などしているが、まだまだ意識付けが必要である	常に利用者の尊厳と権利を守るため研修やミーティングを通じて確認や指導を行い、声掛けの工夫、居室・トイレ・入浴時のケア、個人記録の取り扱いなど、利用者の人格や感性を大切にされた対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に声かけを通し希望を取り入れるようにし、また選択肢などで自己決定できるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の集いや週1回の利用者様の会議にて希望・要望を聴くようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみは気をつけているが外出などの必要時のみで普段はできていない		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常に準備や後片付けなど`していただいている。また職員と一緒に食べている	基本の献立は準備されているが、「朝の集い」で希望を確認し、可能な限りの対応を行っている。買物や調理・盛り付け、配膳・後片づけなど、できる事は手伝ってもらい、会話しながら楽しく食事ができるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月間の献立をカロリーを考え作成し併設施設の管理栄養士に確認してもらい週間に作成している。またNSTミーティングも施行している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ポッカレモンでのうがい・週3回のポリデント・歯磨きを毎日施行、また必要に応じて歯科受診を施行している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	基本的にオムツ使用はしていません。また必要に応じてパット利用している。またゆりりん測定器にて自立支援のESTミーティングを施行	利用者の自尊心には十分配慮して、家族からの情報も参考に昼間はオムツ使用をやめるなど、自立に向けた支援を行っている。毎週自立支援に向けたミーティングも実施し、様々な工夫はケアプランに反映させて、経過も克明に記録を残し、更なる改善に活用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の牛乳・ヨーグルトの提供及び排便困難者に対してはオリゴ糖及びファイバーの利用を医師の指示のもと計画的に施行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴については毎日入浴である。ただし入浴したくない時は希望にあわせて提供するようにしています	入浴は基本的には毎日可能であり、順番は利用者の健康状態も考慮して希望に沿う対応に努めている。タイミングの良い声掛けや誘導に努め、羞恥心にも配慮してゆったりと安心して入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝についてはほぼ同じ時間帯であるが、ラウンドすることで安心していただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についてはルール化し薬情を含み記録し共有している。また毎日医師に症状を伝達し確認していただいている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の取組みをしているがまだまだ不完全である		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出の機会を多く設け本人の希望を引き出すような努力をしている	利用者の希望に沿って、健康状態や天候を見ながらドライブ・買物・墓参り・地域の散策等、出かける機会が多い。年に数回は、地域の行事・花見・一日遠足・友人訪問等、外出が楽しみになるように支援している。年に1回はご家族参加のもとで、事業所で行程を企画した一泊旅行も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は紛失が心配なので預からず、本人の希望や必要に応じて事務所より立替えていただくようにしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時や贈り物が来た場合に夕方などに電話連絡をしていただくように支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常に採光など注意し空間づくりをしている。また環境にやさしいジオパワーシステムの導入をしている</p>	<p>共用空間は温度・湿度の調整に配慮がなされ、明るく、畳の間・掘り炬燵・ソファなどが配置され、ゆったりとくつろげるスペースが確保されている。窓からは遠くの山々や田園風景を眺める事ができ、建物の周囲は散策できるように整備されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人は個室の部屋や各主要箇所での利用ができるようにしている。また集団での語らいの場も提供できている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを利用できるようにし工夫しているが、個人差がある	居室のベッドや家具を始めとして、利用者が使い慣れた人形・テーブル・時計・写真などを自由に持ち込んでもらい、本人が落ち着いて居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認知症の症状によっては場所誘導の表示や、役割についての週間表など作成するなど工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない